

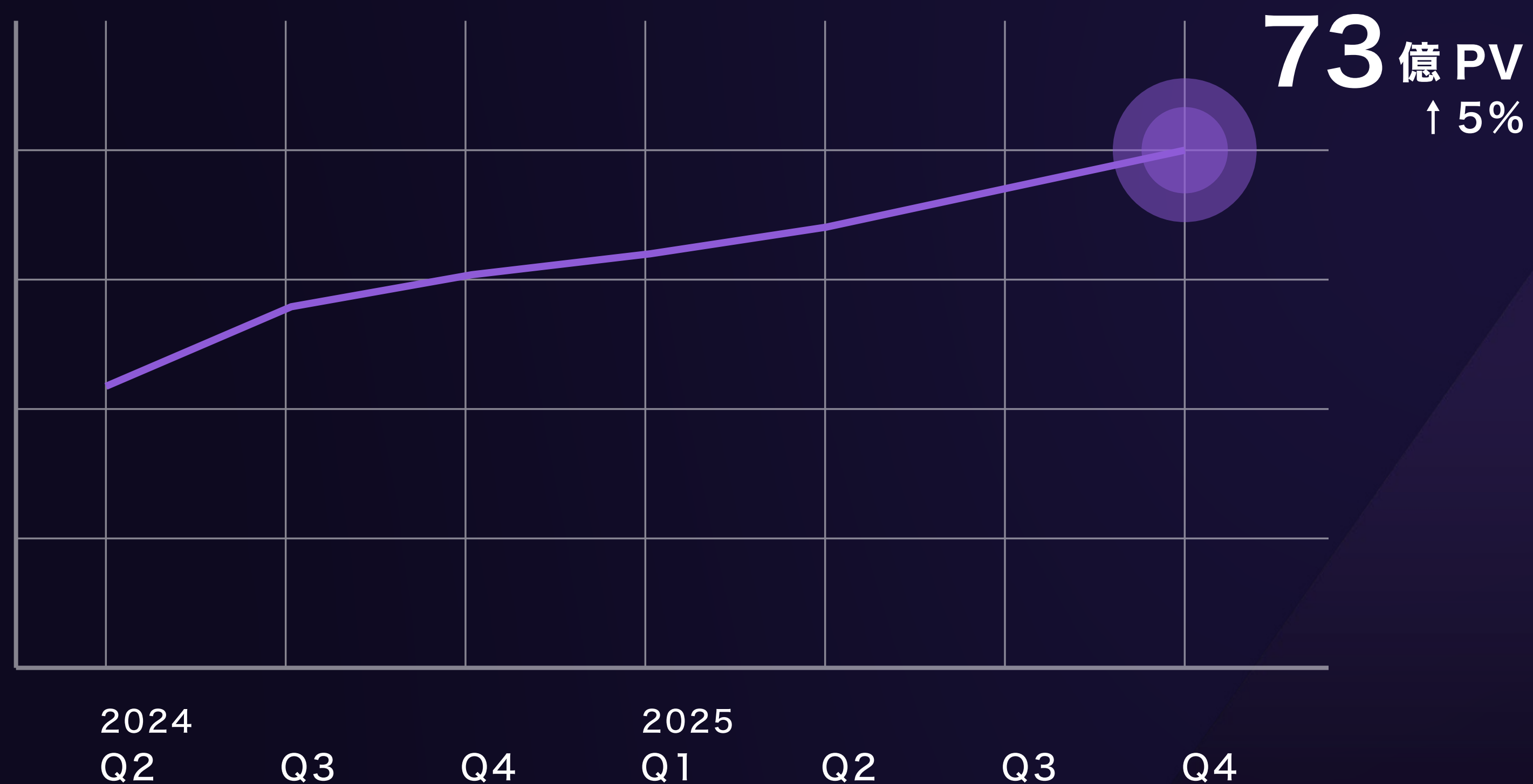
 Ximera MEDIA SURVIVAL STRATEGY 2026

# AI変革期における メディアサバイバル戦略

2026年における「信頼」と「共生」のモデル

# トラフィックに関するデータ

「トラフィック崩壊」は誤解である 巷で語られる悲観論とは裏腹に、データは底堅いコンテンツ需要を示している。  
AI普及後も、メディアを通じた情報消費は確実に増え続けている。



Source: Chartbeat: Global Audience Insights Q4 2

# 外部流入から内部回遊への転換

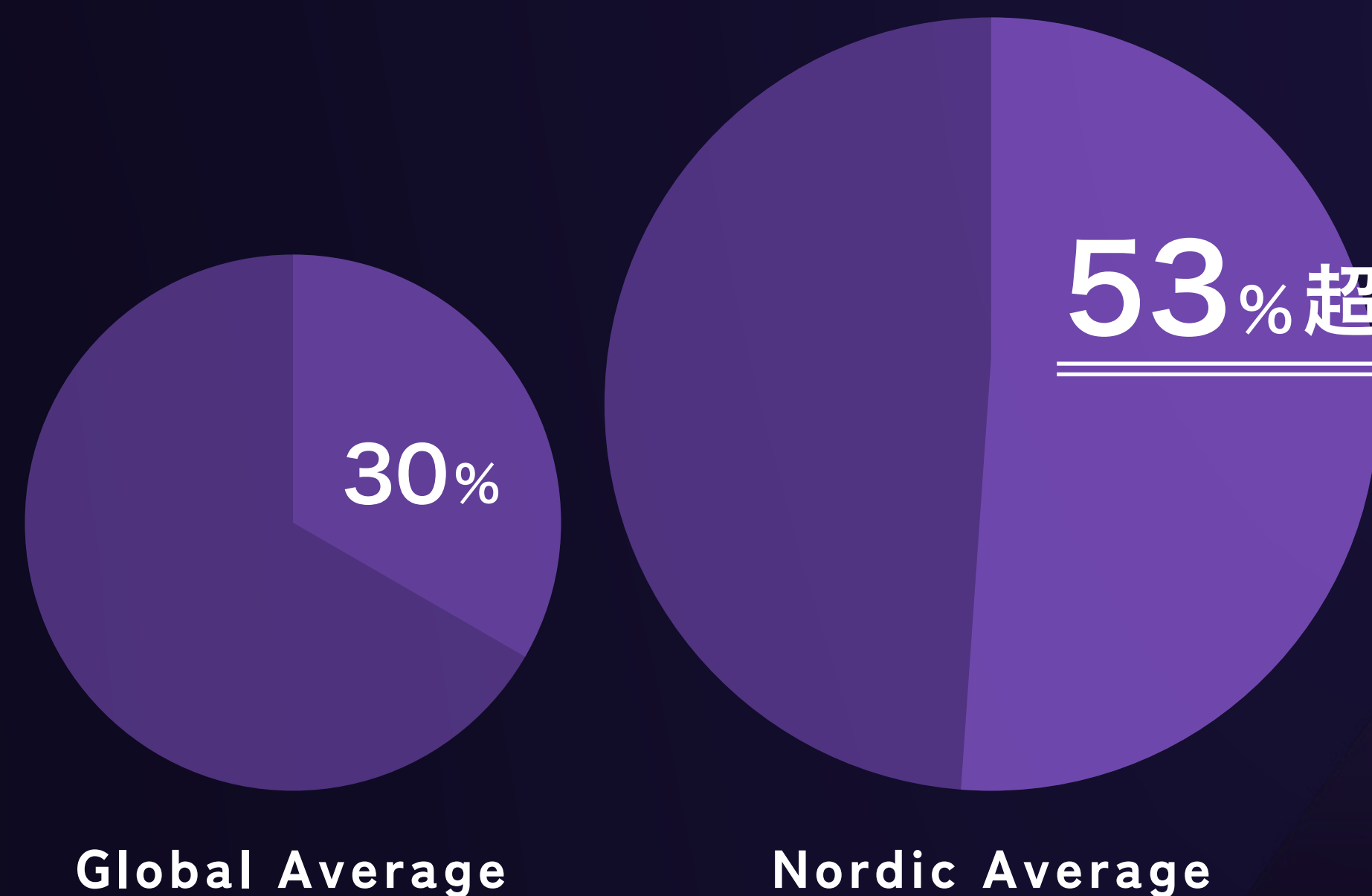
検索やSNSからの流入が頭打ちとなる中、勝負の場は「サイト内部」に移った。  
外部プラットフォームに依存せず、いかに「もう一本」記事を読ませるかが生存の鍵となる。



# 北欧に学ぶ「習慣化」という防壁

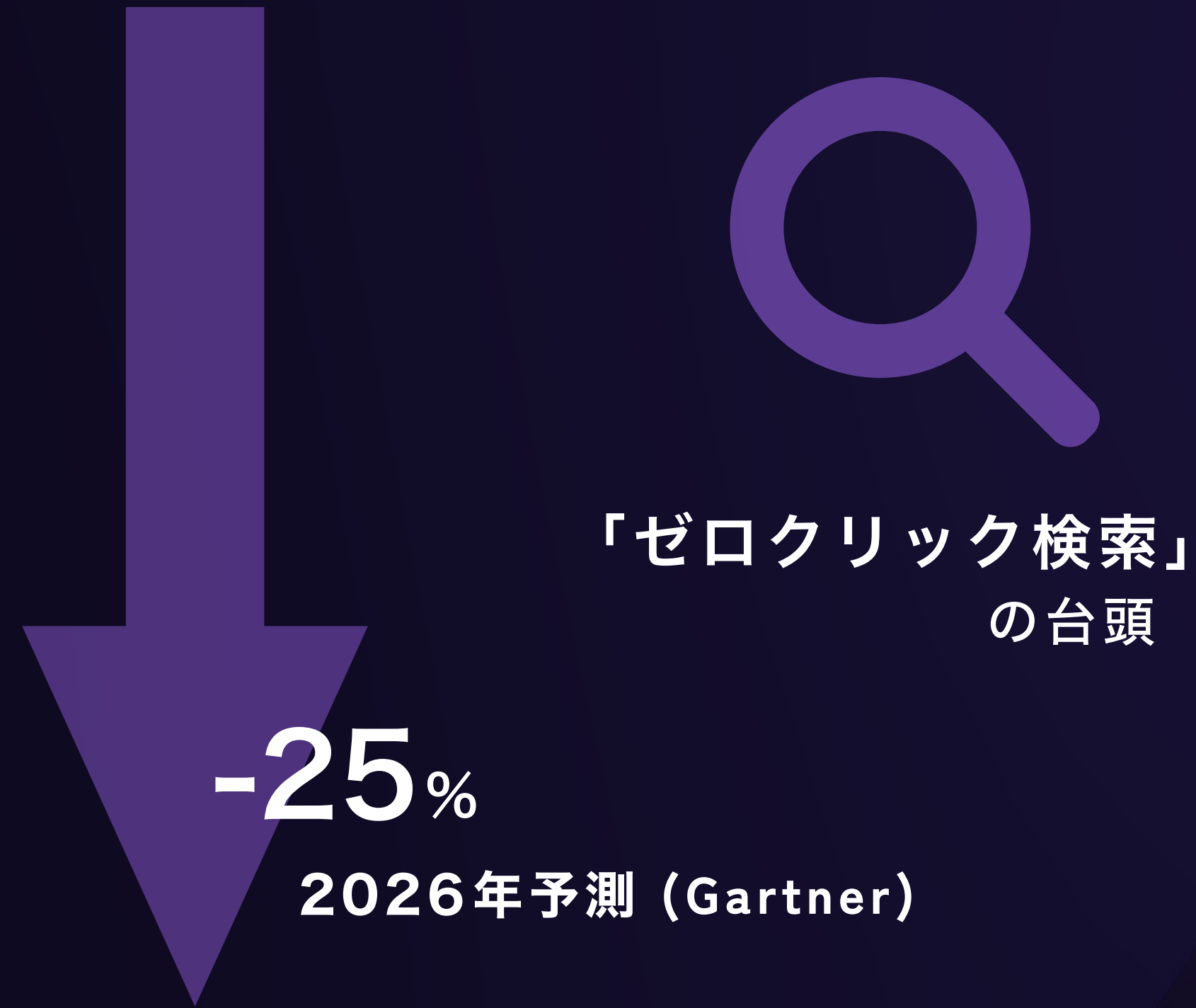
ロイヤルティ先進国である北欧メディアは、外部依存からの脱却に成功している。  
高い再訪率は、読者の生活に「メディアを直接訪問する習慣」が定着している証拠である。

再訪率  
Return Rate



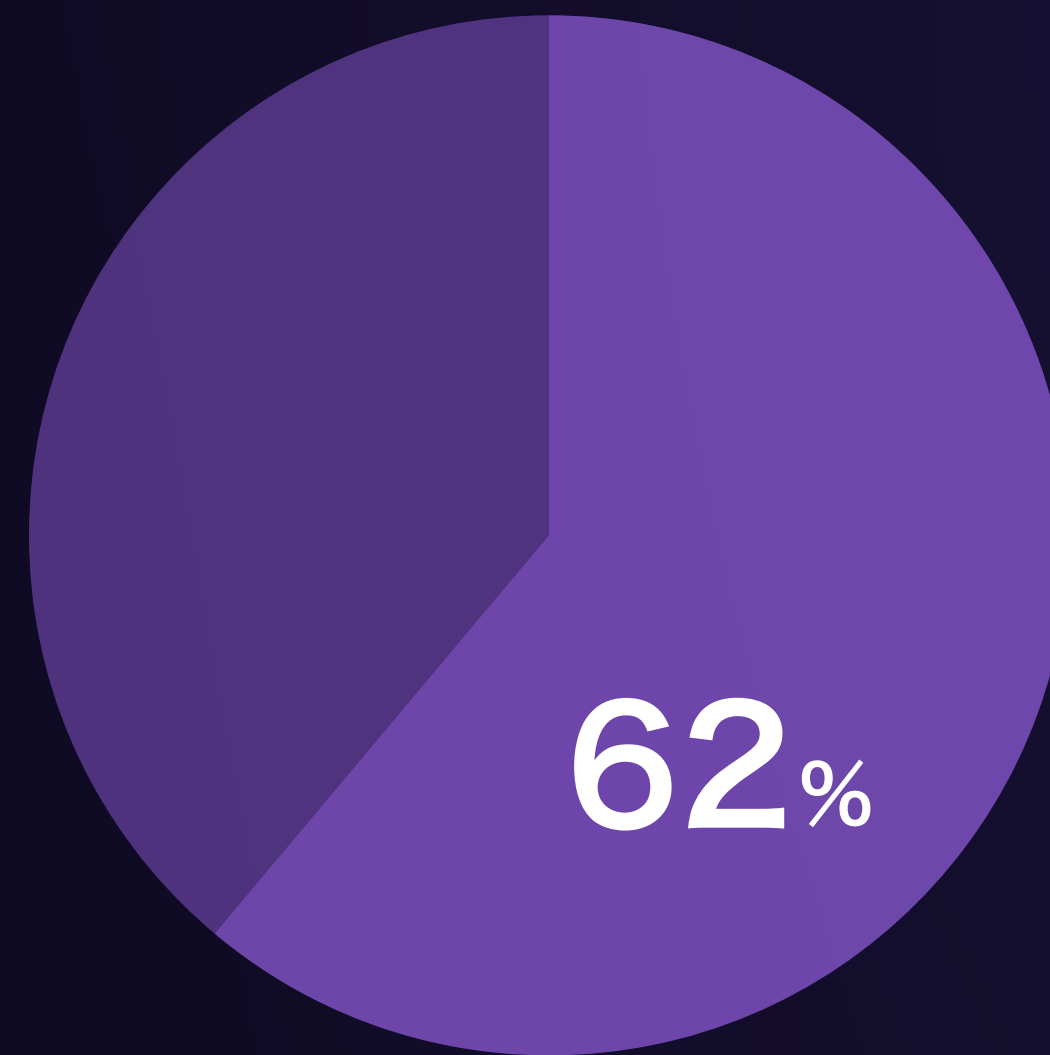
# 検索ボリュームは「25% 減少」する

Gartnerの予測通り、ユーザーは検索結果をクリックせず、AIの直接回答で満足するようになる。従来のSEO集客モデルは、構造的な限界を迎えつつある。



# 「人間による取材」への信頼回帰

AI製の低品質コンテンツ（AIスロップ）が氾濫する反動で、読者は「誰が書いたか」を重視し始めている。「現場取材」や「独自の視点」といった、人間にしか生み出せない実在性が最大の差別化要因となる。



人間による取材を信頼

# 日本独自の「共生モデル」と攻防



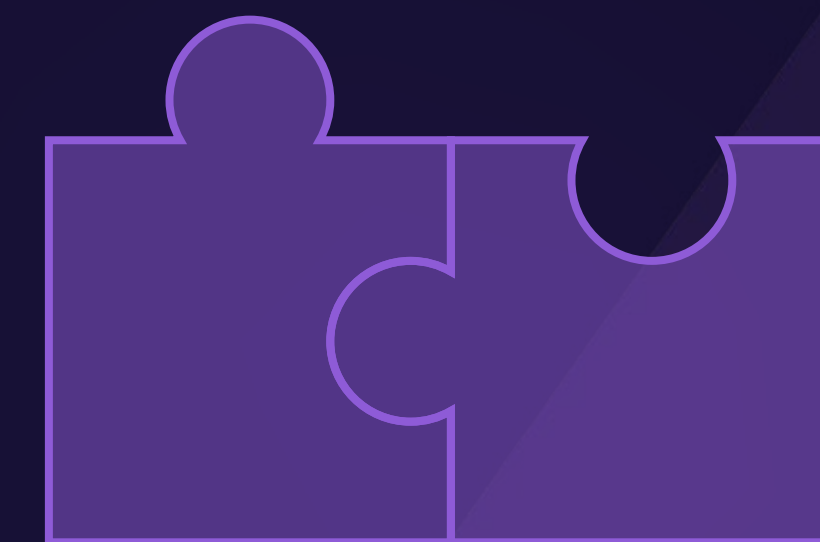
## 権利の防衛 Defense

日経・読売などが AI 検索を提訴。データの「提供価値」を法的に守る動き。



## 攻めの AI 実装 Offense

記事 DB を活用した B2B ビジネス(NIKKEI KAI)や、自治体向けサービスの開発。

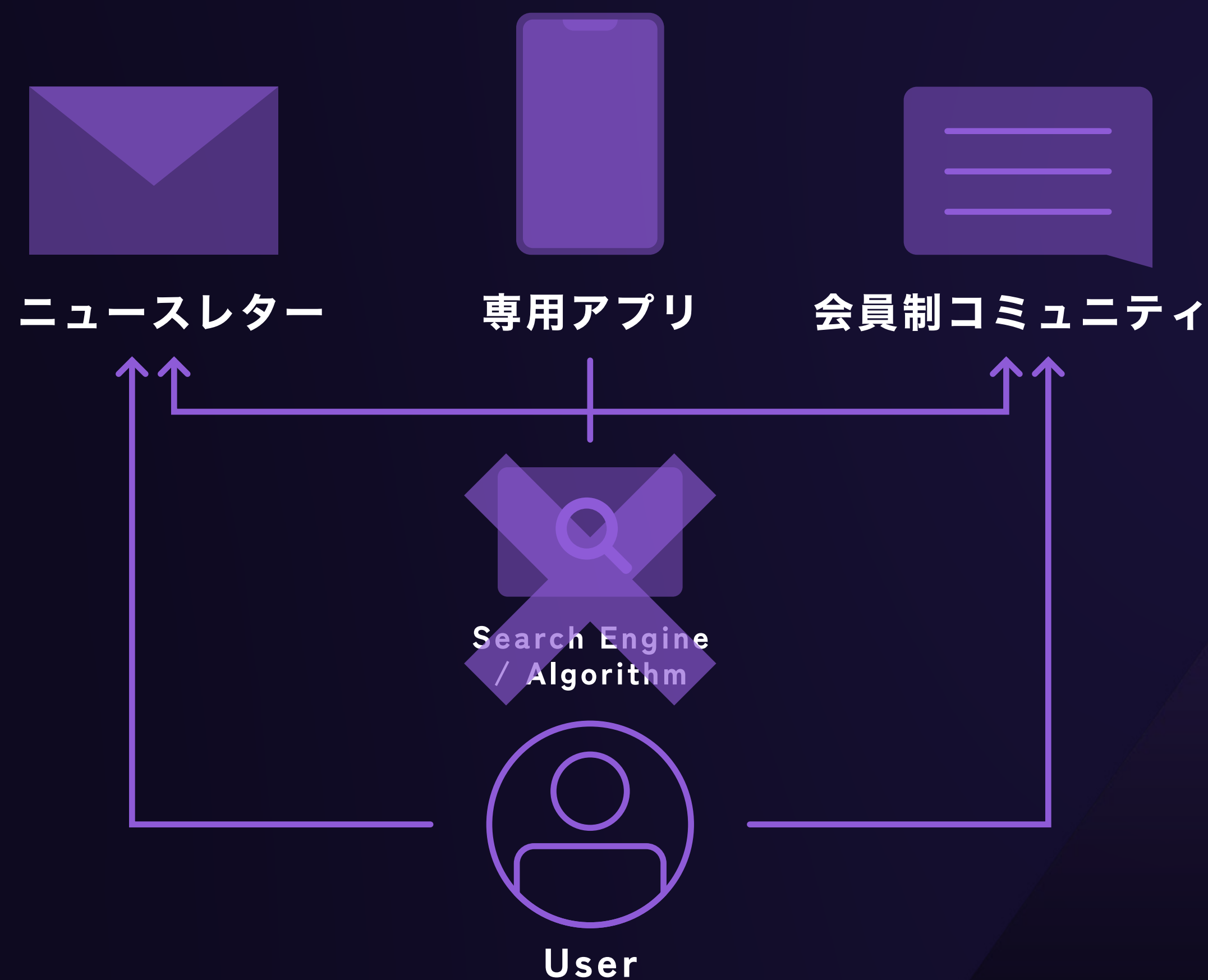


## 日本型共生 Symbiosis

AI 要約とメディア送客を両立させるプラットフォーム(SmartNews 等)の形成。

# 戦略1「指名訪問」される存在感 北欧型ロイヤリティモデル

アルゴリズムの変更に振り回されないために。ニュースレター、専用アプリ、会員制コミュニティを強化し、読者が自らサイトを訪れる「指名検索」の比率を高める。



# 戦略2 人間にしかできない「付加価値」へ

AIを敵対視せず、制作プロセスに組み込む。

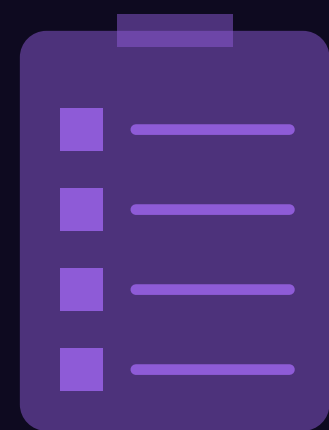
リソースを「人間にしか作れない価値」に集中させることが、最強の競争力となる。

バックエンド業務



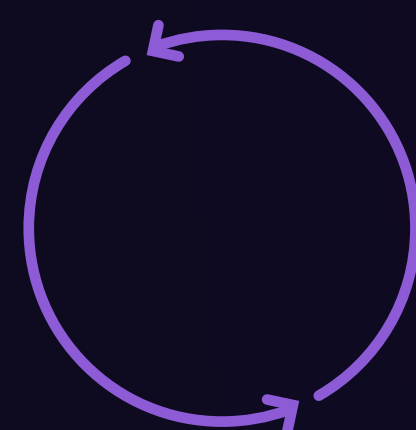
校正

Proofreading



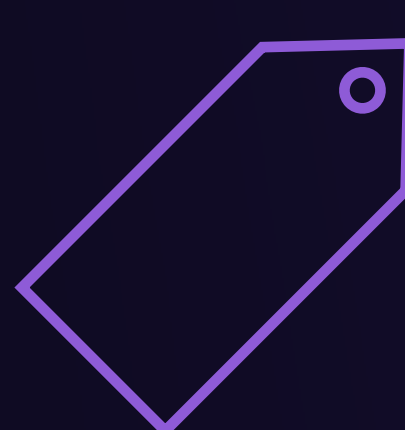
要約

Summary



翻訳

Translation



タグ付け

Tagging

価値創出

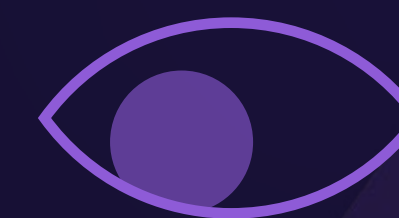
Value Creation

付加価値の創出

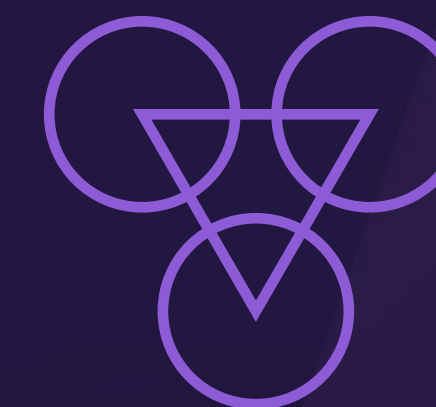
# Human



現場取材  
Reporting



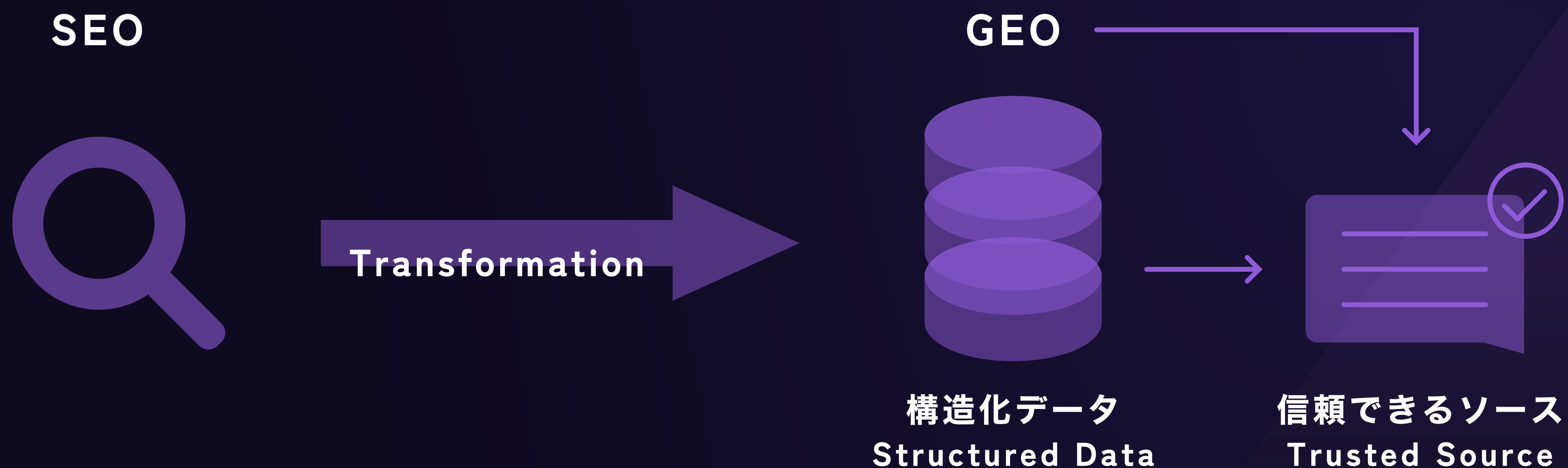
深い洞察  
Deep Insight



コミュニティ形成  
Community

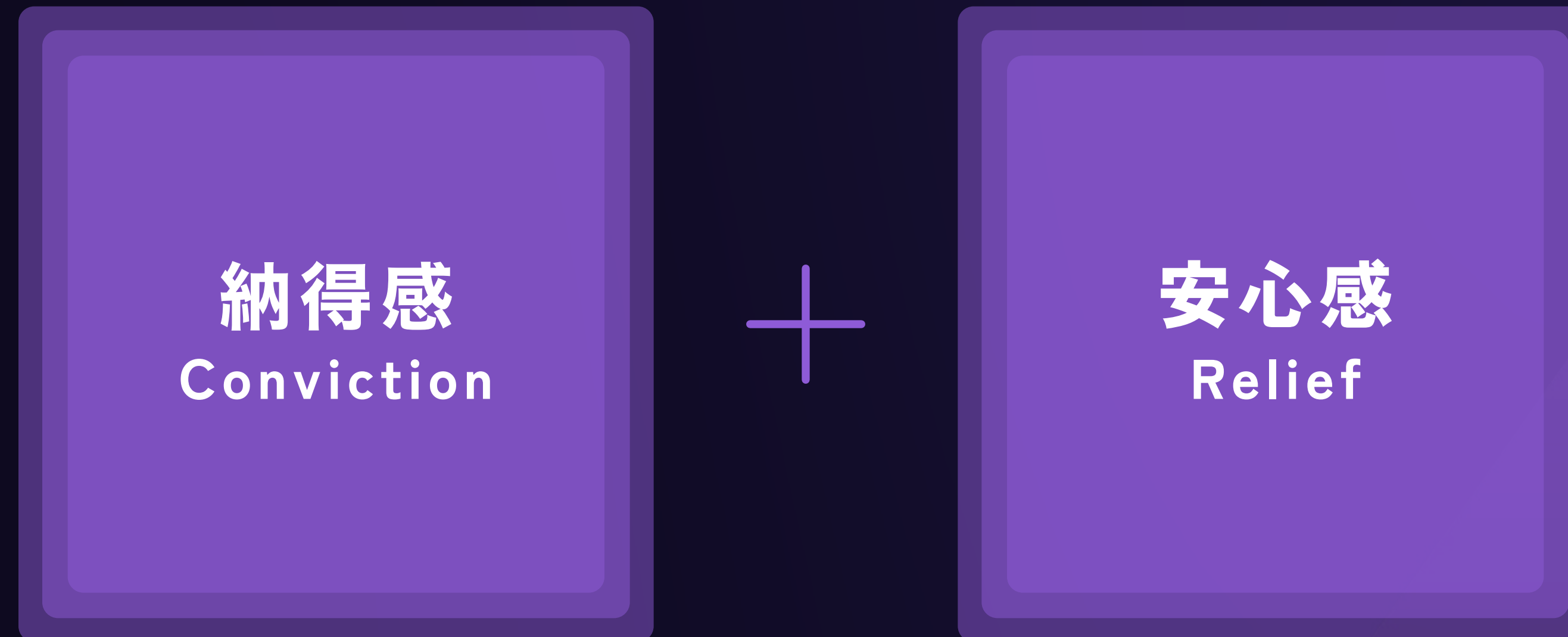
# 戦略3 回答エンジンの「ソース」になる

AIが回答を生成する際、その「根拠」として引用されることが新たなゴールとなる。  
構造化された一次情報を蓄積し、AIにとって「信頼できるソース」としての地位を確立する。



# 情報の「デリバリー」から「コンテキスト」へ

AIで「答え」を得ることは容易になった。だからこそ、メディアの役割は変化する。  
単に情報を運ぶのではなく、その背景にあるコンテキストを伝え、読者に「信頼」を提供する存在へ。



# お問い合わせ



2026年のメディア戦略をご一緒に。  
メールまたは2次元コードのフォームよりお気軽にお問い合わせください。  
mail: [chartbeat@ximera.jp](mailto:chartbeat@ximera.jp)

株式会社キメラ / Ximera, Inc.

<https://ximera.com/>

■ 本社所在地

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 23 番 17 号

■ 事業内容

パブリッシャー・Webメディアのデータ分析、  
戦略支援、開発・運用支援

■ 役員

大東 洋克 代表取締役社長